

# 電子薬歴と会計・レセプト機能を一体化 ファイリング機能付で薬局の省スペース化と確実な支援を

## —電子薬歴の主な機能—

- 問合せ登録
  - 疑義照会登録
  - 指導登録
  - 経過記録登録(SOAP形式)
  - 音声認識・生体認証(※)
  - キャリア登録
  - アンケート登録
  - フリーシート登録
  - 処方箋ファイリング(認識機能あり)  
一括ファイリング・個別ファイリング・  
高額処方箋印刷
  - ワークシートファイリング
  - 処方チェック機能  
副作用・相互作用・薬物動態など
  - 指導情報一覧
  - 薬剤師指示機能
  - 薬剤情報表示
  - 投薬カウンター機能(後会計連動)
- (※) 有償オプションです。

## ■次世代システムそれがPharao(ファラオ)& Cabinet(キャビネット)

調剤薬局の電子化・IT化の中核となり礎となる保険薬局統合基幹システムです。経営の基盤となる保険請求を支えるだけでなく患者へのポータルである投薬カウンター・薬歴管理を電子化。質の高い服薬支援を提供します。使う人の満足度向上を追求し、さらには薬剤師・事務の方の「気づき」「喜び」まで発展させること、それが、両毛システムズの目指す調剤薬局向けのシステムです。人びとが健康な身体と豊かな心をもって生活していく社会づくりのため、薬局をより力強くサポートします。

## ■オール・イン・ワン 電子薬歴一体型モデル

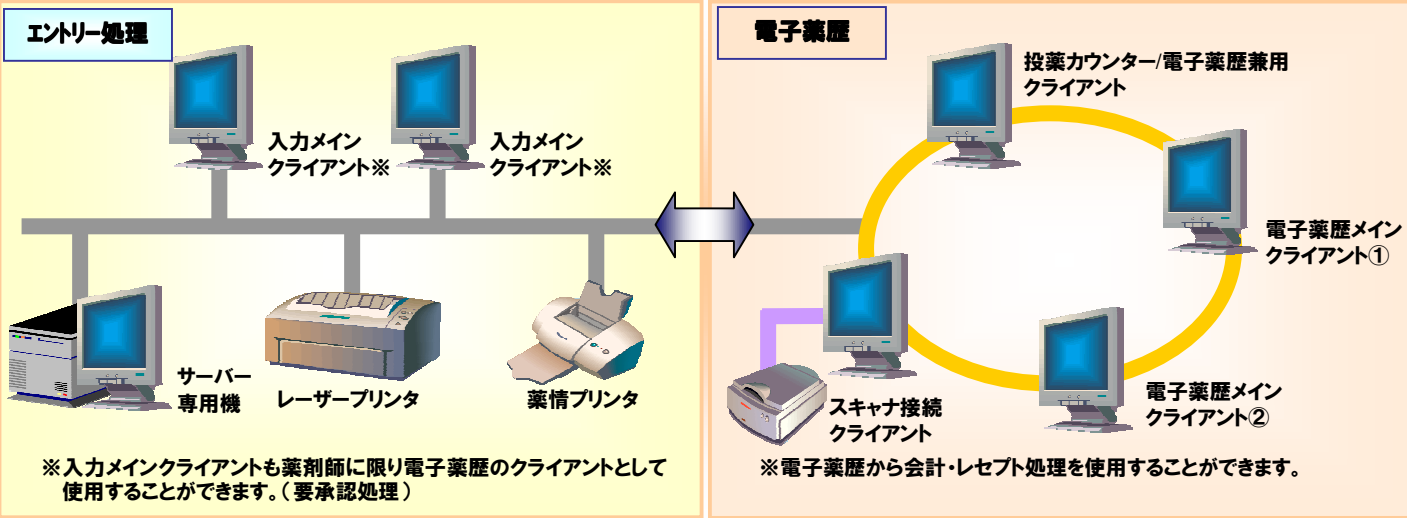
組み込み型の電子薬歴管理システムを実現しました。処方・薬歴・会計データを一元管理することで真正性の確保が飛躍的に向上するだけでなく省スペース化と理想的な業務運用を実現します。

手書き帳票・キーボード入力・マイクによる音声認識(オプション)も指導入力で利用できます。薬局の運用に合った最適な電子薬歴業務を支援します。

生体認証(認証機器が別途必要)により、次元の高いセキュリティを提供します。

一元管理のため、コストパフォーマンスに優れたシステムをご提供致します。

## 電子薬歴システム構成例



## 動作環境

- ソフトウェア環境 : Pharao 基本アプリケーションが動作する環境(エンタープライズ構成になります)
- 推奨ハードウェア : Microsoft Windows 2003 サーバー以上のOSが搭載されるサーバー専用機
- : Microsoft Windows XP プロフェッショナルのOSが搭載されるクライアント
- ※電子薬歴搭載モデルは、「信頼性・保存性」が確保されたサーバー専用機が必須になります。
- Microsoft Windowsは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

本システムで提供される情報は、導入された薬局薬剤師の責任において保証されるものです

- ※ 調剤薬局の電子薬歴管理は「日本薬剤師会のガイドライン」に従って運用してください。
- ※ オプションソフト・機器の費用・導入支援費用はPharaoをご購入する販売店とご相談ください。
- ※ 医療改定による算定方法変更・バージョンアップ等で、操作方法を含む機能を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- ※ 本システムはPharao専用組み込みアプリケーションです。Pharao以外のアプリケーションとの連動及び情報の引継ぎは出来ません。

開発元 株式会社 **両毛システムズ**  
あなたとともに、夢つなぐ

ISO 9001:2000  
Certificate No. 152149  
ISO14001:1996  
Certificate No. 162138

本社: 376-8502  
群馬県桐生市広沢町3-4025  
TEL: (0277) 40-2098 (直通) FAX: (0277) 53-3772



※仕様及び外観は製品改良のためお断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

200605090002-Pharao201

## オプションカタログ

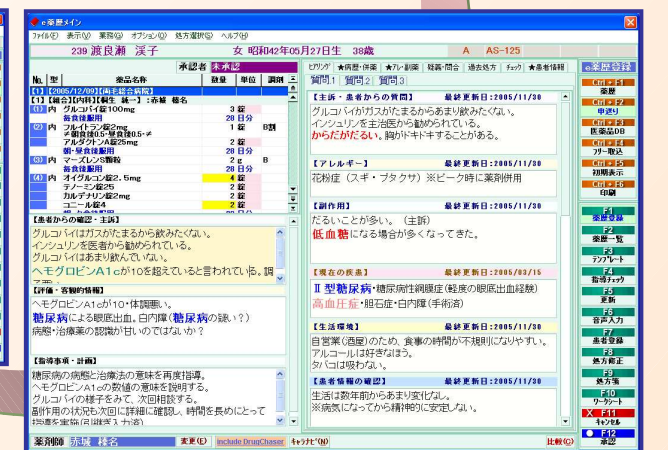
## オールラウンド薬局支援コンピュータ

## 電子薬歴搭載モデル

## 保険薬局統合基幹システム

ファラオ  
**Pharao**  
Advanced Phalys

キャビネット  
**Cabinet**



## 会計処理・電子薬歴がオール・イン・ワン

## 導入コストの低減とランニングコストの省力化

## 生体認証によるセキュリティ対応

薬局の「気づき」を支えるシステム、それがファラオです

# これからの保険薬局をサポートする「完全一体型電子薬歴システム」

ファラオ キャビネット  
 保険薬局の電子化の流れで最も注目される電子薬歴システム「Pharao-Cabinet」は会計・レセプトシステムと一体型(※)とすることで薬局システムのダウンサイジングを実現し、会計システムとの連動型電子薬歴が実現出来なかった電子情報の完全真正性をクリアします。これからの薬局業務を根底から支える電子薬歴システムを提供します。

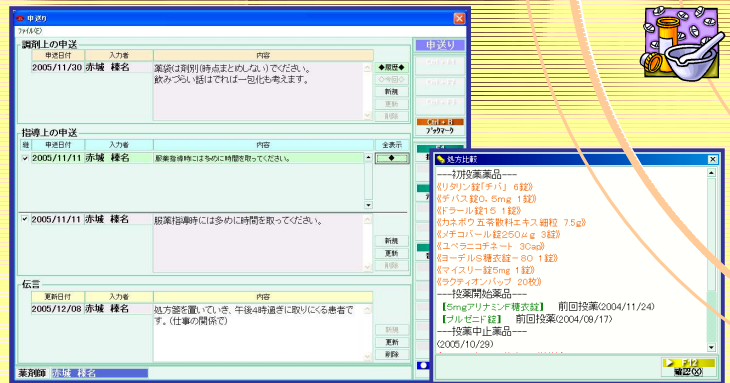


## ■シンプル画面で使い易い画面

必要な情報をシンプルに表現しています。直感的にわかり易く、そのまま入力することが可能です。

## ■入力項目が選べる親切設計

画面の表示内容を設定できます。ヒアリング項目・指導項目の登録項目名は運用に合わせた設定が可能です。



## ■引継ぎ機能をサポート

前回からの引継ぎ項目を自動ポップアップします。患者支援を行なう上で重要な項目を忘れることなく役立たせることが可能です。引継ぎ項目は、「指導上」「調剤上」「伝言」があります。

## ■医薬品追跡機能(ドラッグチェイサー)標準装備

患者の投与薬品が変更された場合、処方薬品が新規なのか、また、中止されたのか即座に表示することが可能です。医薬品の投与状況を即座に検索することも可能です。

会計機能(処方入力・修正)でも表示することが可能です。

オレンジ表示  
患者初医薬品

ブルー表示  
過去投与医薬品

## ■キャラナビ機能

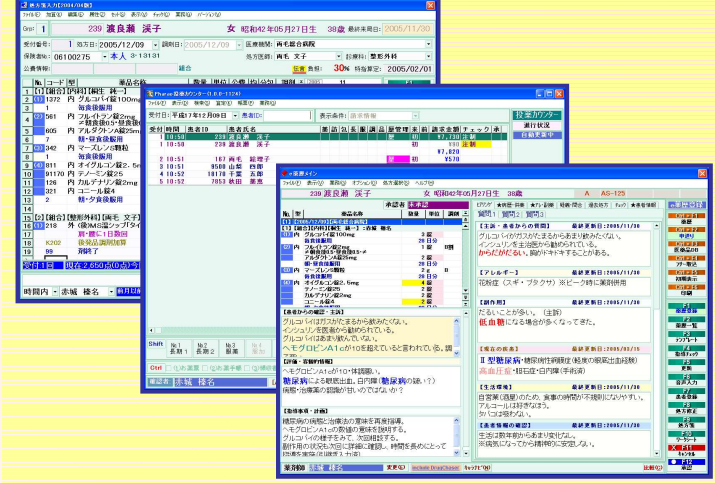
医薬品データベースから注意喚起をするための情報を1項目1キャラクターで表示し患者支援をサポートします。支援業務のナビゲーションとしてご利用できます。



# はじめよう! 電子薬歴「ファラオ キャビネット」

## ■後会計(投薬カウンター)処理と完全連動可能

電子薬歴と同時に「投薬カウンター」機能をご利用になれば、電子薬歴と後会計を連動して業務を行なうことが可能です。投薬カウンターで投薬支援を行ない、後会計(指導加算更新)が出来ます。処方内容変更も可能、結果はそのまま薬歴情報に反映します。



処方修正・電子薬歴・後会計・指導アドバイス・医薬品追跡が可能。

## ■ファイリング機能

現在の紙による運用をスキャナで取り込み、電子化運用することも可能です。処方箋だけでなく、手書き薬歴の情報(ワークシート)を取り込むことができます。

別途読取装置(スキャナ)が必要になります。

## ■テンプレート機能

よく利用する用語をテンプレートにまとめて処理をすることが可能です。

## ■音声認識

キーボード入力の補助機能として「音声認識ソフト」(※)もご利用できます。

マイクに喋るだけで文字変換します。

※音声認識は別途アプリケーションが必要になります。

従来のパスワード入力に「生体認証機能」を付加しました。

生体認証用の読取装置が必要です。

こんな薬局に最適

## ■相互作用チェック・指導支援も装備

医薬品データベースは、会計・レセプト処理機能と完全連動します。チェック機能以外にも指導支援情報・薬剤師向け情報も表示し服薬指導に充分な情報を提供します。

## ■薬師 ビジュアル薬品検索ツール

16,000品目の商品情報と8,000点の薬品画像情報を収載しています。(商品5,000品目)  
 医薬品データベースを年4回、CD-ROM等で提供します。  
 販売元 株式会社 グローバルビジョン  
 開発元 株式会社 ケン・ニューメディア・ラボ・トリス

## ■イメージ薬歴

画面上で、紙薬歴に近い形式で表示することが可能です。電子薬歴の情報を紙に印刷することができます。

## ■薬局のコンピュータ台数の省力化推進

一体型のため、会計・レセプト端末=電子薬歴端末が可能です。兼用することで、設置台数の省力化が可能です。薬局内をコンピュータだらけにすることがありません。

## ■ランニングコストの低減の提案

共通管理のためソフトメンテナンス費用は会計・レセプトのみにになります。独立・連動型のようなコストアップが発生しません。端末の省力化と合わせて大幅なランニングコストを削減できます。

## ■会計連動による即時変更の実現

電子薬歴から処方内容が修正できるため、連動型電子薬歴のように別端末で再送するような時間ロスが発生しません。処方箋受付が多い薬局では、この時間のロスが大きな問題になっていますが、一体型電子薬歴ではこのロスを大幅に削減できます。

## ■相互情報利用による未来への指向

電子薬歴と会計・レセプトは共用化により相互にデータを利用できます。薬局基幹システムとして一括管理できる機能を揃えています。

## ■簡単入力

キーボードによる入力・手書きをスキャンの両方の対応が可能。最適な入力形式を選択できます。(併用可能) 薬局の運用にあわせてフレキシブルに対応出来ます。

## ■医薬品データベース標準搭載&共通利用

患者支援の要である医薬品データベースを標準装備(会計・レセプト共通利用)しています。患者支援をサポートし患者のための情報をすばやく表示します。共通利用はランニングコストの低減にも貢献しています。

## ■ジェネリック・後発医薬品変更可能処方箋対応済

電子薬歴(会計・レセプト処理含)でジェネリック処方箋情報を保存可能。一般名と実調剤商品名を登録することで処方箋の情報を詳細に管理できます。

## ■生体認証による強固なセキュリティを実現

生体認証によるセキュリティを採用。電子薬歴と会計・レセプトで採用することで、強固なセキュリティと安全性を実現します。認証情報はログ管理され追跡することも可能です。

※連動型の電子薬歴システムでは会計・レセプトコンピュータと処方情報が別保存のため、会計側と電子薬歴側が同一処方箋で内容に差異が出る事が避けられません。Pharao-Cabinetでは一元管理であるため内容に差異が生じることはありません。

この電子薬歴オプションを導入することにより、決められた保険点数を自動で取得できるものではありません。ご利用になる薬剤師の電子薬歴運用基準を遵守するとともに、責任の所在を明確にすることが必要になります。